

やさい週間情報(第29号)

平成29年10月27日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	4,000	4,000	-	1本売り (2L・L) 398~298円	<p>本県産中心に北海道産の販売。</p> <p>北海道産の系統の販売が今週いっぱい終了し、本県産の入荷は減少していることから滞留していた流通在庫も整理されつつある。また、売価が下がったことから2L、L級を中心に動きは出てきており、1本売りの売場面積も広がってきている。しかしながら両産地の品質不良が続いていることもあり相場の回復には至っていない。</p> <p>11月2週目以降は北海道産の新ながいもの販売が始まる予定で、次週については概ね保合での販売が見込まれる。2週目以降は徐々に新物への切り替えが進むことが考えられ、28年産については更なる販売苦戦が見込まれる。次年産への影響も懸念されることから、柔軟な価格設定をしながら荷動きの良化に努める。</p>
		A3L	4,000	4,000			
		A2L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		A L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		A M	3,200	3,200			
		B4L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		B3L	3,700~3,500	3,700~3,500			
		B2L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B M	3,000	3,000			
		C2L	2,800~	2,800~			
		C L	2,500~	2,500~			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	4,000~	4,000~		1本売り 398~298円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>本県産も終盤となり、全体の流通量も落ち着いてきている中、末端売価を下げた販売企画の実施から、1本売り・カット売りともに動きが出てきており、A・B品を中心に荷動きは回復傾向にある。一方でC品については流通量の多さと品質懸念から依然厳しい販売が続いている。</p> <p>来週については、出荷量は今週よりも少ない見込みとなっており、価格については概ね保合いでの販売が見込まれるものの、C品については厳しい販売が続くものと思われる。</p>
		A3L	4,000~	4,000~			
		A2L	3,800~	3,800~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,300~	3,300~			
		B4L	3,700~	3,700~			
		B3L	3,700~	3,700~			
		B2L	3,500~	3,500~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	2,800~	2,800~			
		C2L	2,700~	2,700~			
		C L	2,200~	2,200~			

品名 ながいも No.2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,000~ 4,000~ 3,800~ 3,600~ 3,500~ 3,500~ 3,000~ 2,800~ 2,500~ 2,000~	4,000~ 4,000~ 3,800~ 3,600~ 3,500~ 3,500~ 3,000~ 2,800~ 2,500~ 2,000~		カット 88~59円/100g	<p>北海道産を中心に本県産の販売。</p> <p>北海道産の28年産の終了について、JA帯広かわにしは今週いっぱい、商系は11月まで販売がズレ込む見込みとなっている。また、29年産の開始はJA帯広かわにしで11月3日出荷と見込まれている。</p> <p>また、引続き青果会社によって要望する等階級は異なるものの、末端売価が下がったことで1本売り・カット売りの双方でAB品の注文は増えてきている。ただ、C品については、イタミの発生と歩留まりの低さから、まだ引合いが弱い状態が続いている。</p> <p>来週についても、価格は弱保合推移となる見込みだが、消費宣伝会を積極的に開催し荷動きの回復に努める。</p>
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	4,000~3,500 4,000~3,500 3,500~3,300 3,300~3,000 3,500~3,000 3,500~3,000 3,200~3,000 3,000~2,800 2,300~2,000	4,000~3,500 4,000~3,500 3,500~3,300 3,300~3,000 3,500~3,000 3,500~3,000 3,200~3,000 3,000~2,800 2,300~2,000		カット 100g 78~68円	<p>九州管内への北海道産系統物は今週末の入荷で概ね終了となるが、商系物はまだ若干の入荷が見込まれ、本県産を含めてながいも全般の流通量は減少しているが、流通在庫が多く荷動きが鈍い状態が続いている。</p> <p>ながいも全般に品質懸念の問題から、価格は下がっても仲卸は積極的な買いとはなっておらず、量販店の売価は下がっているものの売場の狭さに変化はない。</p> <p>今後、各社の在庫および販売環境を見極めた出荷により、次年産に影響を及ぼさないよう柔軟な価格帯によって流通在庫の軽減を図る。</p>
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,000 4,000 4,000~3,500 4,000~3,500 4,000~3,600 3,600~3,500 3,500~3,200 3,300~3,000 3,000~2,500 2,500~2,400	4,000 4,000 4,000~3,500 4,000~3,500 4,000~3,600 3,600~3,500 3,500~3,200 3,300~3,000 3,000~2,500 2,500~2,400	なし	1本売り 398~350円 カット 100g 84~78円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>引続き、荷動きの鈍い中、イタミ等の発生も多く、市況は下げ基調での推移となっている。また、安価な転送品も減少しておらず、販売環境の良くない状況が続いている。</p> <p>来週についても、東北市場への入荷は変わらないものの、荷動きの緩慢な状況は続くものと思われ、市況は弱含み推移の見込み。</p>

品名 にんにく No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産系統並びに商系業者の入荷が増えてきており、全体的な不足感は徐々に解消されつつある。その中で出荷比率の低い2L級は強めの展開だが、出荷比率の高いM級についてはやや弱めの状況は変わっていない。 量販店での売場については、輸入品の売場も拡張してきており、全体的に緩やかな荷動きとなりつつある。今後は本県産の入荷が本格的になる中で、価格等も考慮しながら売場の拡張や荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,600~ 2,400~ 2,000~ 2,400~ 2,200~ 1,800~	2,600~2,400 2,400~2,200 2,000~1,800 2,400~2,200 2,200~2,000 1,800~1,600		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 徐々に流通量が増えてきている中、入荷比率の低い2Lについては保合、比率の高いL・Mについては弱含みでの販売となっている。 今後さらに入荷が増えてくる見込みから、売場拡大に向けて各等階級とも一段下げての販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,400~2,000 1,800~	2,500~ 2,400~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷量は徐々に増えてきているものの、まだ管内全体には行き渡っていないため、総体的には不足感が残っている。ただし、徐々にではあるがM級の在庫は溜まってきている。また、価格については概ね保合での販売となった。 来週については、入荷量が横ばいとなるため、引続き堅調な販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の入荷量が徐々に増え始め、2L級は強め、M級は弱めで、今年産の規格内容を反映する販売となっている。 現在の高値基調から、今後、流通量の増加に伴い価格も落ち着いてくると思われる。野菜全般に価格が低迷している中で、にんにくは高値販売が続いているが、反動により一気に荷動きが鈍くなることも考えられるため、的確な産地情報が必要と思われる。
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,400 2,400~2,100 1,800	2,600~2,400 2,300~2,100 1,800	なし	L 1 P 298 円	東市場への入荷が再開したものの、引続き、不足感が非常に強く。発生率の少ない2L級を中心に強保合推移。 本県産の入荷が回復する10月下旬までは、市況は保合での販売となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A2L AL AM (4K) AM	1,500~ 1,800~ 2,000~ 800~ 700	1,500~ 1,800~ 2,000~ 800~ 700		L1本 178~198円 本県産中心に北海道産、茨城産の販売となっている。 本県産の系統関係の入荷は少ないものの商系業者の入荷が増えてきており、加えて北海道産の入荷も順調なことから太物中心にやや弱めの相場展開となっている。本県産の入荷については比較的販売しやすい規格での入荷となっていることからLM級を中心にスムーズな荷動きとなっている。 消費地の気温低下や売場の秋商材への切り替えから、売場面積も広がってきており、引続き継続的な出荷をお願いします。
名古屋	本県産 北海道産	AM A2M AS A2S	2,300~2,200 2,300~2,200 2,000~1,900 1,600~1,500	2,200~2,100 2,200~2,100 1,900~1,800 1,500~1,400		2M2本入 198~158円 本県産および北海道産中心の販売となっている。 末端の売価は変わらない中、出荷量が徐々に増えてきているものの、天候不順によって入荷が不安定な他品目に代わって特売が組まれるなどしたことから概ね保合での販売となっている。 来週以降については、本格的に収穫作業に入りさらに出荷量が増えてくることから、価格については一段下げでの販売が見込まれる。
大阪	北海道産 本県産 関東産	A3L A2L AL AM A2M AS A2S	1,400~ 1,600~1,400 1,800~ 2,000~ 2,200~ 2,000~1,800 1,600~1,500	1,400~ 1,500~ 1,800~1,600 2,000~1,800 2,200~ 1,800~ 1,500~		2Mハーフ 198円/P S1P 158円/P 北海道産・本県産・関東産の販売。 今週は、価格の下げを予想した加工業者からの引合いが弱まったことで、若干ではあるが全体的に荷動きは鈍化した。しかし、台風の影響から北海道産が減少したため、総体量は多くなく、価格については保合推移となった。 来週については、入荷量は多くないものの、荷動きの回復は見込めず、価格は弱含みでの推移となる見込み。
九州	本県産	A2L AL AM	1,800~1,600 2,200~2,000 2,200~2,000	1,800~1,600 2,200~2,000 2,200~2,000		業務・加工筋は本県産に切り替わっているが、九州各産地の流通在庫が多く、量販店の売場は本県産・九州産の併売となっている。 野菜全般に荷動きが鈍く、ごぼうも強めの販売ではないが、量販店の売場は徐々に本県産に切り替わってきており、また、量販店の鍋物商材の売場も拡張されていることから、全体的に保合での価格帯で推移する見込み。

品名 ご ぼ う No. 2

東 北	本 県 産	4 k g				先週同様に入荷量はやや増加しているが、気温の低下により末端の需要は活発となっており、荷動きは良好。 今後徐々に増量が見込まれるものの、総体量の少なさから下げには至らず保合推移の見込み。
		A 3 L	600~500	600~500		
		A 2 L	700~600	700~600		
		A L	800~600	800~600		
		A M	1,000~800	1,000~800		

品名 だ い こ ん

事務所	主 力 地	主 力 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
東 京	北 海 道 産	A 2 L	900~ 800	800~ 700	—	1 本 178 円	本県産、関東近在産の販売となっている。 週前半は台風の影響から入荷が少なく、本県産への引合いが強まり、価格を上げての販売となった。週末には関東近在産の入荷が回復し徐々に価格を下げながらの販売となった。 台風の影響により一部地域で塩害の被害が見られる一方で被害の少ない地区もあり生育は順調なことから、来週についても弱めの相場展開が見込まれる。
	本 県 産	A L	1,000~ 900	900~ 800		ハーフカット 70~80 円	
名古屋	本 県 産 北 海 道 産 新 潟 県 産	A 2 L A L	1,000~1,100 1,100~1,200	1,000~1,100 1,100~1,200		1 本売り 198~158 円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 北海道産が終盤となっている中、後続産地の近在産が長雨・日照不足や台風の影響もあり、入荷が少ない状況が続いていることから、本県産への引合いが強まり価格を大きく上げての販売となった。 来週については、台風の影響も懸念されることから、週前半は強含みの販売が見込まれるが、後半にかけて遅れていた後続産地が増量となれば価格は落ち着くものと予想される。

品名 こ か ぶ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	A 2 L A L 5 玉結束	700～ 500 700～ 500 80～ 50	700～ 500 700～ 500 80～ 50			<p>本県産と関東近在産の販売となっている。</p> <p>週前半については台風の影響から関東近在産の入荷が少なく、本県産の入荷も終盤から少ない状態が続き、強含みでの販売となった。</p> <p>来週いっぱい本県産の入荷が切り上がるが、それ以上に関東近在産は順調な入荷が見込まれることから相場は保合での推移となる見込み。</p>
名古屋	本県産 北陸近在産	A 3 L	600～500	600～500			<p>本県産・北陸近在産中心の販売となっている。</p> <p>競合する北陸産については、台風の影響でごく一部で葉の傷み等があったものの、全体的には被害がほぼなかったことから、安定した入荷が続いており本県産への引合いは弱い状況が続いている。</p> <p>今後については、本県産は終盤となって減少するものの、11月上旬には石川県産の共選品が開始となる見込みとなっていることから厳しい販売が続く見込み。</p>
大阪	本県産	A 3 L A 2 L A L	800～ 600 1,000～ 600 800～ 600	800～ 600 1,000～ 600 800～ 600			<p>本県産中心の販売。</p> <p>千葉県産・福井県産が台風の影響から幾分減少したため、販売の中心となる2L級では強含み、その他の階級では保合で推移した。ただ、同じく台風の影響により本県産で葉の黄変や玉の褐変等も見られている。</p> <p>来週については、品質も回復してくる見込みであるため、価格は保合推移となる見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L	1,400~1,200	1,300~1,200			<p>東北産、関東近在産、愛知県産、熊本県産の販売となっている。</p> <p>各産地とも気温の低下や天候不順から、入荷量は少ない状況で推移している。そのため発注の減少に加え、関東近在産や西南暖地産への産地切替えも進んでいることから厳しい販売状況となっている。</p> <p>東北各産地については終盤からくる品質不良が散見されており、関東近在産や西南暖地の入荷は、徐々に増えてきているため、更なる販売苦戦が見込まれる。</p>
		A M	1,400~1,200	1,400~1,200			
		A S	1,300~1,200	1,300~1,200			
	関東近在産	A M	1,500~1,300	1,500~1,300			
名古屋	本県産 北海道産 岐阜産	A L	1,600~	1,600~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>本県産については出荷終盤の中、気温の低下から着色も悪くなっているものの、台風の影響もあり総体量が少なかったことから、概ね保合いでの販売となった。</p> <p>来週については、出荷はさらに減る見込みとなっているものの、品質・着色面での管理の徹底が望まれている。</p>
		A M	1,600~	1,600~			

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L	140~120	120~			<p>東北産中心に関東近在産、愛知県産、熊本県産の販売。</p> <p>東北以北の産地については入荷が少なく、加えて関東以南の地域の入荷も少ないことから今週については保合での販売となった。</p> <p>来週以降、台風の進路次第ではあるが関東以南の入荷も不安定であることから、全体的には弱保合での販売推移の見込み。本県産を含む東北各産地については割れ等の品質不良品が増えてきたことから産地切替えも進んでおり、本県産については弱含みでの販売となる見込み。</p>
		A M	150~130	140~130			
		3Kバラ	2,000~1,800	2,000~1,800			

品名 ピーマン

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	東北産 本県産	A L 袋	1,000～ 800 60～ 50	1,000～ 800 60～ 50			茨城県産中心に東北各県産の販売。 東北産が終盤をむかえ、日々入荷量が減少している中、台風の影響から茨城県産秋作については入荷量が極端に減少し、今週については一段上げての販売となった。 来週についても引続き入荷量の不安定さから保合での販売となる見込み。
大阪	本県産 兵庫県産 高知県産 宮崎県産	バラ A L 150g 袋 A L	1,000～800 40～	1,000～800 40～			本県産・兵庫県産・高知県産・宮崎県産（促成）の販売。 今週は、西日本産が低温により増量が鈍くなったことと、東日本産が台風の影響を受けたことから、入荷量が減少したため、価格については強含みで推移した。 来週については、他産地の増量が予想されているため、価格は下げ基調となる見込み。

品名 露地ねぎ

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	2,000～ 2,500～2,200	2,000～ 2,500～2,200			東北各産地中心に、北海道、新潟、長野県産の販売。 天候の影響から本県産をはじめとする東北各県産は少なくなっており、関東近在産については台風の影響から入荷量は減少となった。週末にかけて特売等が組まれており、引合いが強く相場についても高騰している。 千葉、埼玉ともに強風による葉折れ等の被害が大きく、今後はA品の入荷が少なくなることが見込まれる。そのため来週についても強保合での推移となる見込み。

品名 きゅうり

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	3,000~2,500	2,500~2,000			<p>関東近在産に加え東北各県産の販売となっている。</p> <p>東北産の露地物については終盤につき出荷量は日々減少しているが、関東近在産についても天候不順と気温の低下から入荷が減り、総対量不足から引合いが更に強まり価格は高騰した。</p> <p>台風通過以降、各産地で好天が続いており、次週については順調な入荷が見込まれ、徐々に価格を下げながらの販売となる見込み。</p>

品名 にんじん

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	北海道	本県産 A2L AL AM 北海道産 A2L AL AM	500~ 400 600~ 500 800~ 700 600~ 800~ 900~	500~ 600~ 700~ 500~ 600~ 800~			<p>北海道中心に本県産の入荷となっている。</p> <p>北海道産については降雪や台風の影響から入荷が少なく、千葉県産も台風の影響から入荷が少なかったうえに、細物中心となっているため、総体量が少なく市場滞留はみられず強保合での販売となっている。</p> <p>北海道産の入荷は11月中旬までとなっていることや、一部千葉県産で台風被害は見られるものの、徐々に系統並びに商系業者の入荷も増えてくることから今後は弱保合での販売となる見込み。</p>
名古屋	本県産 北海道産	A2L AL AM AS	700 ~ 600 800 ~ 700 800 ~ 700 600 ~ 500	700 ~ 600 800 ~ 700 800 ~ 700 600 ~ 500			<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>北海道産については、台風の影響で週前半は入荷が減少したうえ、出荷終了となる産地も出てきていることから、本県産への引合いも徐々に出てきている。</p> <p>来週については、北海道産は徐々に減少が見込まれる中、後続の近在産が天候不順により遅れていることから、本県産は一定の売場は確保できる見通し。入荷比率の高いM・S級については弱め、L級以上は強含みでの販売が見込まれることから、太物中心での出荷が望まれる。</p>